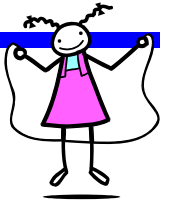
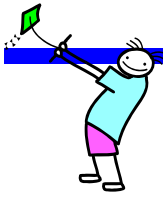


①事業名	【22】学校教育における人間力向上のための長期宿泊体験活動推進プロジェクト～仲間と学ぶ宿泊体験教室～	
②主管課及び関	(主管課) 初等中等教育局児童生徒課 (課長: 木岡 保雅)	
③施策目標及び達成目標	施策目標 2-2 豊かな心の育成 達成目標 2-2-2 小学校における一週間以上の宿泊自然体験活動等をはじめとした学校における体験活動や、人権感覚を身につける教育を推進する。	
④事業の概要	<p>【対象】 近年、高度情報化や都市化、少子化といった社会の変化に伴い、子どもについて社会性の不足、生命の尊重や基本的な倫理観が不十分である、といった指摘があり、これに対し、各学校において豊かな人間性や社会性を養うのに効果的とされる体験活動に取り組んでいるところである。これに加え、最近はさらに子どもの意欲や協調性の欠如が指摘されていることから、小・中学校に通う児童生徒（特に小学生）に対して、</p> <p>【手段】 青少年教育施設等での一週間程度の自然の中での長期集団宿泊体験活動等を、①異学年交流を通じた「学び合い」、②2カ年程度にわたる継続的な活動、③事前・事後学習を通じて児童生徒の自主性を尊重すること、を重視して実施し、</p> <p>【意図】 子どもの生活や学習における意欲や集団の一員としての態度など社会生活を送る上で基礎的な資質の養成・強化を図る。</p>	
⑤予算額及び事業開始年度	平成19年度概算要求額: 590百万円 (新規)	
⑥広報計画	事業の趣旨につき各種会議等で周知を図るほか、新しく事例集の配布も全国的に行う。	
⑦事業開始時において得ようとした効果	〔拡充事業の場合のみ記入〕	
⑧得られた効果	〔拡充事業の場合のみ記入〕	
⑨得ようとする効果及び上位目標との関係	<p>【得ようとする効果】 全国の小中高校において7日間以上のまとまった体験活動が実施される。特に、小学校においては、宿泊を伴う体験活動が推進され、高等学校においては普通科における体験活動が推進される。</p> <p>【上位基本目標・達成目標との関係】 本事業を実施することにより、全国の小中高校において体験活動が実施され、児童生徒の社会性や豊かな人間性が育まれるため、豊かな心の育成に結び付くつながる。</p>	<p>⑩達成年度</p> <p>平成22年度</p>
⑪必要性	<p>最近の子どもについて、①意欲・積極性が足りない（自ら新しい課題に取り組もうとしない）、②協調性に欠ける（コミュニケーションがとれない、集団で行動できない）といった指摘がなされているところであり、この問題意識から、経済成長戦略大綱において「知識やノウハウを実践に結びつける力などの「人間力」、「社会人基礎力」等社会人としての基礎的な能力の養成・強化を図る」ための「長期宿泊体験などの体験活動」の推進の必要性が盛り込まれたところである。</p> <p>以上から、これまでの体験活動の取組を引き続き推進していくことに加え、①異学年交流を通じた「学び合い」、②2カ年程度にわたる継続的な活動、③事前・事後学習を通じて児童生徒の自主性を尊重すること、等を重視した長期宿泊体験活動を推進し、社会生活を送る上で基礎的な資質の養成・強化に焦点を当て、児童生徒の生活や学習における意欲や集団の一員としての態度などの育成を特に図るために、新たにモデル校を指定して調査研究を行う必要がある。</p> <p>なお、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」（平成18年7月7日閣議決定）において、「他者への思いやりや命を大切にする教育及び長期宿泊体験などの体験活動の充実の取組を進める」と記載されているほか、「経済成長戦略大綱」（18年6月26日経済財政諮問会議決定）や中央教育審議会答申「新しい義務教育を創造する」（17年10月26日）等においても同様の記載があるところ。</p>	
⑫効率性	【事業に投入されるインプット（資源量）】	

	<p>本事業の予算は、指定を受けた地域や学校が体験活動を実施するために必要な経費として、590百万円を想定している。 【事業から得られるアウトプット（活動量）】 本事業を実施することで、新たに約752校の小・中学校においてモデル的な長期宿泊体験活動が実施される。</p>
⑬ 想定できる代替手段との比較考量	<p>平成14年度より実施しているモデル事業「豊かな体験活動推進事業」により、各学校地域における豊かな人間性や社会性を養うための様々な体験活動が実施されており、体験活動を実施するためのノウハウが全国的に蓄積されつつある状況である。</p> <p>一方で、近年特に指摘されることが多い子どもの意欲や協調性の低下の問題が、国として重要な政策課題となっている。もとより子どもは未来の日本を支える「貯（たから）」であるため、活力ある国家を築いていく上では、社会人としての基礎的な能力の養成を中長期的な視点に立って推進していかなくてはならない。</p> <p>このため、子どもの意欲や積極性、豊かな人間性や社会性を養うのに効果があるといわれている長期集団宿泊体験活動において、①異学年交流を行う、②長期にわたり教育課程に位置付け、各教科等で学んだ知識の実践化を図る、③児童生徒の自主性を重視すること、ことを特に重視することで、子どもの意欲や協調性等の向上が更にどの程度図ることができるかを調査研究し、その結果を踏まえ、学校教育において様々な体験活動がより効果的に実施されるよう、国において全国的に調査研究を実施することが、子どもの社会人としての基礎的な能力の育成を進める上で効果的である。</p>
⑭ 有効性	<p>【指標・参考指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校における体験活動の実施時間数 ・文部科学省が委託して行う調査において、本事業の実施により子どもの意欲や社会性の向上、問題行動等への対策という点で役立ったと回答した教育委員会・学校の数 <p>【参考指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国の不登校、中退、暴力行為、いじめ、自殺の発生件数
効果の把握の仕方	文部科学省が委託して行う調査研究において調査を行う予定
得ようとする効果の達成見込み及びその判断根拠	既に平成16年度までに小学校・高等学校において年間の体験活動の実施日数が7日間を超えているのに加えて本事業を実施することにより、中学校においても年間の体験活動の実施日数が7日間を超えるとともに、子どもの意欲や積極性が養われ、豊かな人間性や社会性がはぐくまれることが期待され、本事業の得ようとする効果は達成できると判断。
⑮ 公平性、優先性	[政策の特性に応じて、必要により評価]
⑯ 評価に用いたデータ・情報・外部評価等	文部科学省が委託して行う調査研究において実施する調査結果を活用する。
⑰ 備考	<ul style="list-style-type: none"> ・「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2006」（平成18年7月7日閣議決定） ・「経済成長戦略大綱」（18年6月26日経済財政諮問会議決定）

学校教育における人間力向上のための長期宿泊体験活動推進プロジェクト ～仲間と学ぶ宿泊体験教室～



今の子どもたちをめぐる課題

平成19年度概算要求額:590,229千円(新規)

高度情報化や都市化、少子化といった社会の変化による、人間関係の希薄化、家庭や地域社会における教育力の低下など様々な課題
→ 子どもについて社会性の不足、生命の尊重や基本的な倫理観が不十分であるなどといった問題の懸念

これまで、各学校において、豊かな人間性や社会性を養うのに効果的とされる様々な体験活動に取り組んでいる。

【新しい課題】

- ・意欲・積極性が足りない(自ら新しい課題に取り組もうとしない)
- ・協調性に欠ける(コミュニケーションが取れない、集団で行動できない)

【経済成長戦略大綱】

・・長期宿泊体験などの体験活動・・等により、知識やノウハウを実践に結びつける力などの「人間力」、「社会人基礎力」等社会人としての基礎的な能力の養成・強化を図る。

「豊かな体験活動推進事業」(H14～)において、他校のモデルとなる学校教育における体験活動の取組を支援している

社会生活を送る上で基礎的な資質の養成・強化に焦点を当てた長期宿泊体験活動を支援

「仲間と学ぶ宿泊体験教室」のポイント

都道府県実行委員会が「仲間と学ぶ宿泊体験教室」推進校(小・中学校)で長期宿泊体験活動プログラム調査研究を実施。

・異学年交流を通じた「学び合い」

年長者がリーダーとなり、年少者はそれを見て学ぶ。

・2か年間にわたる継続的な活動(一過性で終わらせない体験活動)

発達段階に応じた継続的な学習活動を長期にわたり行い、各教科等で学んだ知識をより現実社会での課題解決に結び付く実践的なものに発展させる。

(例)農業体験(1年目:作物栽培の一連の過程を体験することで、基礎的な知識を得る)

事前学習 → 春の種蒔 → 状況推移を観察 → 収穫 → 土壌整備、翌年への準備

(2年目:作物栽培を通じて環境問題を考える。)

作物が育たなくなる原因を考える → 環境保全活動 → 自分に何ができるか考える

・事前の調べ学習から事後の振り返りに至るまで児童生徒の自主性を尊重した活動(活動ありきにしなない体験活動)

人に頼らず物事に適切に対処できるようにする。

継続的な学習活動の中で、課題解決型学習を実践し、学び合いの精神や主体的に課題に取り組む習慣を養う。

ねらい

- ・「聞いたことがある」「知ってる」だけで終わらせず、「もっと知ろう」という探究心を掘り起こし、意欲や積極性ととともに、課題発見能力、課題解決能力を育てる
- ・集団の中で自分の役割と責任を自覚し、他人とのかかわりの中での活動を学び、協調性やコミュニケーション能力を育てる

生活や学習における意欲や集団の一員としての態度など「人間力」の基礎の戦略的な育成を支援する